

HRM Technologies Acronis導入で リカバリタイムを 75%以上改善

インドのITサービスプロバイダー、HRM Technologiesは、統合サイバープロテクション、Acronis Cyber Protect Cloudの導入で毎月10%を超える新規顧客の獲得とより多くのワークロードを保護しています。

背景

2008年にインドで創業のHRM Technologies (HRM) は、トラステッドアドバイザーとしてITサービスおよびコンサルティングを提供します。HRMは、従来型クラウドホスティング（共有、VPS、専用）とEメールをはじめとするインフラストラクチャ関連ソリューションを提供しています。また、エンドポイントセキュリティ、ネットワークセキュリティ、マネージドバックアップに加えて、システム管理、パッチ管理、リモートサポートなど幅広いサービスを提供しています。

課題

HRMは、サービスビジネスを始めるにあたり、ソリューションベンダーの選定を行う必要がありました。バックアップとデータ保護のソリューションは、CEOのPradip Bothraが取引実績のあったVembuもありましたが、ソフトウェアにはバグが多く安定性にも課題を感じていました。HRMはSQLやOracleなどのデータベースアプリケーション保護のマネージドサービスを提供しており、それらは高度なワークロードです。管理対象のサーバー全体を考慮すると、ベアメタル復元のサービスも必要でした。また、サービスプロバイダーのHRMは、エンタープライズ向けのバックアップソリューションでは、あまり見られない顧客管理、顧客セルフサービス、請求、チケットシステム等とのインテグレーションにかかわる多くのカスタマイズ運用をおこなっていました。

Acronis



主な課題

- ・ 安定性および効率性
- ・ データベース等、重要ワークロードの保護
- ・ サービスプロバイダー特有のニーズ

主要要件

- ・ OracleおよびSQLのサポート
- ・ 柔軟なライセンスモデルと価格体系
- ・ 単一の統合ソリューション

保護対象リソース

- ・ エンドポイント：約1500式
- ・ ストレージ：20 TB
- ・ サーバー：100式超

メリット

- ・ CapEx、OpEx両方の削減
- ・ RTOを75%改善
- ・ 新規ワークロードの保護で新規顧客の獲得数が月当たり10%増加
- ・ セキュリティ、DLP、EメールセキュリティおよびRMM機能を単一ソリューションに統合



ソリューション： ACRONIS CYBER PROTECT CLOUD

HRMはアクロニス、Veeam、Cloudberryの3つを評価検討しました。VeeamはMSPをサポートしていないため除外され、Cloudberryは、AWSやAzureなどの主要なワークロードに対応するために複数のソリューション、さらに、追加の統合が必要になるため除外されました。HRMは20以上の仮想、物理、クラウドプラットフォームをサポートし、ハイブリッドのバックアップとリカバリにも対応するAcronis Cyber Protect Cloudが理想的なソリューションであるとすぐに気づきました。

Acronis Cyber Protect Cloudは、サービスプロバイダーのために設計されたチャネルフレンドリーなソリューションで、柔軟な管理、プロビジョニングおよび請求機能が特徴です。HRMは、一つの集中管理コンソールで、すべてのバックアップを管理し、個別ファイル、アプリケーションデータ、Microsoft 365、メールボックス、仮想プラットフォーム全体の復元を可能にします。さらに、Acronis Cyber Protect Cloudは、1つの場所から、同種または異なるハードウェアに顧客のデータを復元したり、データを管理したりできる柔軟性も備えています。

技術上およびビジネス上の メリット

Acronis Cyber Protect CloudはHRMのすべての要件に対応しており、現在ではアクロニスをを使って約1500式のエンドポイント、100式以上のサーバー、約20TBのストレージを保護しています。技術面では、アクロニスは安定しており、非常に効率的です。HRMのCEOであるPradip Bothraによると「当社のRTOはほぼ丸一日かかっていましたが、アクロニスを使用してから75%以上改善し、現在では2〜4時間に短縮されました。」

ビジネス面でもBothraは好印象を受けています。「アクロニスには幅広い機能とポートフォリオがあるため、当社のお客様のすべてに対応できます。また、ライセンスモデルと価格体系が柔軟で、使用している機能に応じて費用を支

払うことができます。ファイルバックアップ、Microsoft 365バックアップ、あるいはGoogle Workspaceバックアップのいずれであろうと、アクロニスとの提携の結果、HRMは新規の顧客数を月当たり10%増加させることが出来ました。」さらにアクロニスはサービスプロバイダー向けに最適化されているため、「お客様の環境を容易に管理でき、アクロニスによりプロアクティブに行動し、バックアップの失敗を検出できるようになっています。」とBothraは述べています。

HRMがアクロニスに期待しているのは、バックアップだけではなく。Bothraは次のように付け加えています「アクロニスは、戦略的な方針に基づいてセキュリティ、DLP、EメールセキュリティおよびRMM機能を単一ソリューションに統合し始めたのを知って驚きました。それにより当社はデータ保護を1つの場所から全面的にコントロールしています。」今後の展望としてBothraは「HRMはアクロニスによるセキュリティソリューションを複数のお客様に導入しており、アクロニスのディザスタリカバリにも関心を持っています」と結んでいます。

「アクロニスは、戦略的な方針に基づいてセキュリティ、DLP、EメールセキュリティおよびRMM機能を単一ソリューションに統合し始めたのを知って驚きました。これから当社はデータ保護を1つの場所から全面的にコントロールします。」

- HRM Technologies社CEO
Pradip Bothra

アクロニスについて

アクロニスはデータ保護とサイバーセキュリティを統一し、現代のデジタルワールドのセー

フティ、アクセシビリティ、プライバシー、真正性、セキュリティ (SAPAS) の問題を解決する統合化、自動化されたサイバープロテクションを提供します。アクロニスではサービスプロバイダーやITエキスパートの需要に合う柔軟なデプロイメントモデルを用意し、データ、アプリケーション、システムに革新的な次世代のアンチウイルス、バックアップ、ディザスタリカバリ、そしてエンドポイントの保護管理ソリューションなどの優れたサイバープロテクションを提供します。

2003年に設立され、スイスとシンガポールに本社を構えるアクロニスは「フォーチュン1000」企業の100%に信頼されるグローバル組織です。詳細情報：[acronis.com](https://www.acronis.com)